

営農相談

ダイコン、ハクサイ等の害虫について

窓口などで見出しの相談が多いので以下に取りまとめました。

(ダイコンハムシ)

ダイコン、ハクサイ、カブ、コマツナ、ミズナなどアブラナ科野菜の若い葉や成長点付近の柔らかい組織を好んで食べる「ダイコンハムシ(ダイコンサルハムシともいう)」という甲虫で、野菜の幼苗期に食害されると、ひどい場合は枯れてしまいます。

発生は5月頃から11月頃までで、特に8月末から9月に発生が多い。この虫は幼虫も成虫も発芽間もない頃から食害し、酷いときには葉脈を残すだけでレースのカーテンのような有様になります。

この虫は比較的農業に弱いので、アオムシなどの殺虫剤が撒かれているとあまり被害はありませんので、野菜産地ではそう問題にはなりません。家庭菜園では農薬散布がされていない場合が多く、圃場周辺の雑草地から寄って来たりします。

登録のある農薬は少ないですがスピノエース顆粒水和剤、アディオソ乳剤、パダンSG水溶剤が効果があります。オルトラン、ディフテックス、マラソン等でも効果はあるようです。また、ジェイエース粒剤、オルトラン粒剤、デナボン粒剤、ランネート微粒剤を施用しておく、食害はかなり少なくなるという試験結果があります。

ダイコンサルハムシの生態

成虫・幼虫ともアブラナ科作物の葉を食害する。発生が多いときには葉脈だけ残し網目状に食い尽くす。成虫態で越冬するが、アブラナ科作物で加害が見られるのは初秋以降である。飛翔せず歩行により移動する。触れると葉から転がり落ちる習性がある。殺虫剤には弱く通常の防除を行っている圃場では発生することは少ない。有機農業や家庭菜園等で問題になる。最近では各地で発生が見られ発生が多くなっている地域も増えているという。

成虫は年2、3回の発生で、枯れ草や石下などで成虫で越冬した個体が4月頃から活動を開始する。夏場は休眠し気温が20℃前になる秋に再び姿を現し、1～2世代発生し11月上旬に越冬に入る。

成虫の寿命は500日にも及び、産卵数は約1200個。秋期の卵から成虫までの生育期間は、卵が約5日、幼虫が15日前後、土中に潜る蛹が約12日間で、ほぼ1ヶ月で卵から成虫になるのである。小さな体に似合わぬ成虫の寿命の長さ、驚くべき産卵数と成長の早さである。

(キスジノミハムシ)

この虫もダイコンハムシに近い種類ですが更に小さく、勢い良く飛び跳ねるので捕捉することも困難です。やはり幼虫も成虫も食害します。ただ、幼虫は土中で根を食害するので、ダイコン、カブでは根の表面が早い時期の食害は舐められたような跡が残り、生育後期の食害では小さな食跡が点々と残るためダイコン栽培においては重要な害虫となっています。ハクサイやコマツナなどでは成虫が葉を食害します。防除は播種、植え付け時にダイジストンやオンコル、ガゼットの粒剤を施用しておきます。成虫にはディフテックス乳剤を散布します。

キスジノミハムシの生態

成虫がアブラナ科植物の葉を幼虫は根を食害する。一般にアブラナ科作物の連作が多発生を招く。本県ではダイコン栽培地帯で幼虫による根部食害が問題となっている。成虫は体長2～3mm内外、後脚が発達しておりノミのように跳躍して移動する。

成虫は地上部で、幼虫は地中で生活する。成虫態で越冬し早春から活動を始める。産卵期間が長く、卵から成虫までおよそ1ヵ月であるため、だらだらと成虫の発生が続く。加害時期が長いため、残効期間の短い有機リン系やカーバメート系粒剤では被害発生を抑えることが難しい。

(アオムシ、ヨトウムシ)

依然としてアオムシの発生が多く、これからヨトウムシの発生、食害が多くなります。これらの害虫は成長が早いので油断すると葉がボロボロになります。また、繰り返し発生するので、7日～10日おきに3～4回定期的に防除する必要があります。特にヨトウムシは大きくなるとなかなか死なないので葉裏に密集している幼虫時代にたたくことが有効です。



ダイコンハムシの幼虫と成虫



キスジノミハムシ成虫 (2mm 位)



ア オ ム シ



葉裏に密集するヨトウムシ幼虫



ダイコンハムシの食害



ダイコンの根部加害状況



上記写真の葉表の状況

キャベツの登録農薬	アオムシ、コナガ、トウムシ他	アブラムシ
トレボン乳剤	1000～2000倍、3日、3回	1000～2000倍、3日、3回
アディオソ乳剤	2000倍、3日、5回	2000倍、3日、5回
モスピラン水溶剤	2000倍、7日、5回	2000倍、7日、5回
ジェイエース水溶剤	1000～1500倍、7日、3回	1000～1500倍、7日、3回
アフーム乳剤	1000～2000倍、前日、3回	
スタークル顆粒水溶		2000～3000倍、3日、2回
プレバゾンフロアブル	2000倍、前日、3回	
コテツフロアブル	2000倍、前日、2回	

ダイコンの登録農薬	キスジノミハムシ	アオムシ、コナガ ヨトウムシ他	アブラムシ	ダイコンハ ムシ
トレボン乳剤		1000～2000倍、21日、3回	1000～2000倍、7日、3回	
アディオソ乳剤		2000倍、30日、4回	2000倍、30日、4回	
モスピラン水溶剤	2000倍、14日、1回	2000倍、14日、1回	2000倍、14日、1回	2000倍 14日、1回
ジェイエース水溶剤		1500～2000倍、14日、2回	1500～2000倍、14日、2回	
アフーム乳剤		1000～2000倍、7日、3回		
スタークル顆粒水溶	1000倍、7日、2回		2000～3000倍、7日、2回	
コテツフロアブル		2000倍、14日、2回		2000倍 14日、2回

ハクサイの登録農薬	キスジノミハムシ	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ他	アブラムシ
トレボン乳剤		1000～2000倍、7日、3回	1000～2000倍、7日、3回
アディオソ乳剤		2000倍、7日、5回	2000倍、7日、5回
モスピラン水溶剤		2000倍、14日、3回	2000倍、14日、3回
ジェイエース水溶剤		1000～1500倍、14日、3回	1000～1500倍、14日、3回
アフーム乳剤		1000～2000倍、7日、3回	
スタークル顆粒水溶剤	2000倍、3日、2回		2000～3000倍、3日、2回
プレバゾンフロアブル		2000倍、前日、3回	
コテツフロアブル		2000倍、7日、2回	

ブロッコリーの登録農薬	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ他	アブラムシ
アディオソ乳剤	2000倍、3日、5回	2000倍、3日、5回
モスピラン水溶剤	2000倍、14日、3回	2000倍、14日、3回
ジェイエース水溶剤	1000倍、14日、3回	
アフーム乳剤	1000～2000倍、3日、3回	
プレバゾンフロアブル	2000倍、前日、3回	
コテツフロアブル	2000倍、7日、2回	

アオムシ、コナガ、ヨトウムシ他=ハイノマダラノメイガ、タナマギンウワバなど
上記の他にディブテックス乳剤、マラソン乳剤、エルサン乳剤などもある。